

岩の子ブナ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・岐阜森林管理署
所在地	岐阜県本巣市
面積	182.41ha
設定年	平成16年4月1日（平成29年4月1日 変更）
保護林の概要 （設定目的）	ブナを主体とする高齢級天然林であるため、原生的なブナ個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を3プロットで実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	ブナの成木及び後継樹が確認されているものの、今後急速にニホンジカの植生被害が拡大すると予想される。周囲の緑の回廊や保護林と連携した対策の検討が望まれる。日本海側ブナ林と積雪の影響を強く受けた植生が確認され、巨木も複数確認されるなど保護林全体として自然度の高い貴重な生物群集が保存されているといえる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。